

D. キリスト

旧約聖書は「将来神が人として来られる」という預言で満ちています。この予告された方は、ヘブライ語で「メシア」、ギリシア語で「キリスト」という名称(称号)で呼ばれるようになりました。そして、神は預言通りに人として来られました。この方の人としての名前が「イエス」です。そこで、「キリストとして来られたイエス」という意味で「イエス・キリスト」と言います。「キリストを信じる」とは、「イエスがキリストであると信じる」という意味です。(1 ヨハネ 5:1)

※「メシア」「キリスト」は、「油注がれた者」という意味

1. 旧約聖書で予告されていたキリスト

1 コリント 15:1～6 を次のようにまとめてみましょう

私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、次のことです。

キリストは、

①聖書に書いてあるとおりに、

=

また、

②聖書に書いてあるとおりに、

=

私たちの罪のために()こと

また、()こと

三日目に()こと

また、ケファ、十二弟子、他大勢に()こと

以上のこと(=福音)を信じれば、この福音によって救われます。

2. キリストの復活

人は死んだら復活することはありません。逆に、人を死から復活させることができなければ、神(創造主)とは言えません。イエスの復活は、イエスがキリストであると信じることの最も重要な根拠です。キリストの復活が歴史的事実であることは、主に次の理由から信じることができます。

- (1)空っぽの墓 (キリストの遺体は世界のどこにも存在しない)
- (2)弟子たちの証言 (新約聖書は後代のキリスト教の作ではなく、同時代の証言の書)
- (3)弟子たちの生涯 (数千人の弟子たちが、自ら創作した嘘を全員で口裏を合わせて、世界中に出て行って伝え、その同じ嘘を「この目で見たことを伝えずにはおれない」と証言し、捕らえられ、拷問を受け、殺されるまで語り続けた、と考えることは、不可能である)

《参考図書》『神か大工か』 ジョシュ・マクドウェル著 (いのちのことば社)

『ナザレのイエスは神の子か』 リー・ストロベル著 (いのちのことば社)

確認

私は、イエスが、神が人として来られた方(キリスト)であると信じます。

月 日